県建設業協会大根占支部パト

年度末の無災害促す

県建設業協会大根占支部（桑原影治支部長）は19日、管内4町12現場で労働災害防止のため現場における安全管理、交通事故防止の徹底を促す安全パトロールを実施した。

同日は、肝属郡大根占町の建設会館に、会員事業主をはじめ栗野支部の出来健二郎県協会労務委員、監督官庁、県、地元発注機関、九州電力㈱鹿屋営業所など総勢50人が集まり、岩元繁行理事（有）鳥浜建設）が説明を行った後、2班に分かれバスに分乗して12カ所の施工現場を視察した。

このうち、一班は鹿屋耕地事務所発注のふるさと農道緊急整備事業　松尾地区14の5（㈱桑原組）、同14の5（㈱林建設）、田代町発注の池野・新田線道路改良工事（交付金）1工区（㈱三共建設）など。2班は、大根占土木事務所発注の急傾斜地崩壊対策工事（㈱大成建設）、同発注の通常砂防工事（㈱百次建設）、佐多町発注の14年度道路改良舗装工事（㈱瀬戸山組）などの現場で進捗状況や安全管理、書類管理など入念にチェックした。

厳しく現場をチェックする診断員
＝加世田市の現場で

現場代理人から説明を受けるパト一行
＝大根占町の現場で

反省会では、各現場とも良好と報告があったほか、無災害運動について と題した講話もあり、参加者は年度末に向けて更なる安全への取り組みを誓った。

県建設業協会宮之城支部パト

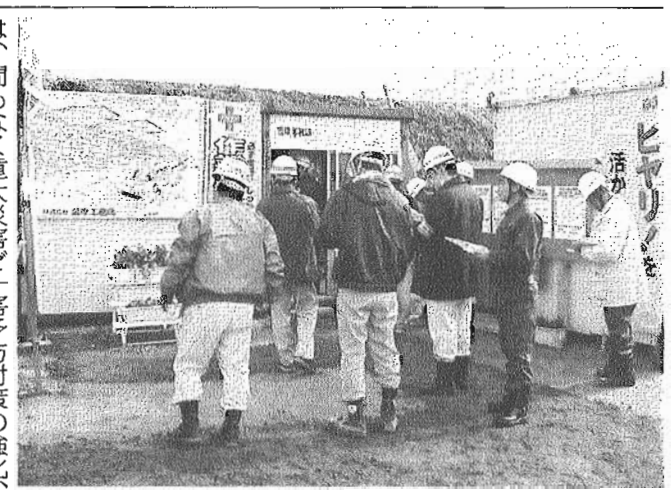
重大災害ゼロ継続を

県建設業協会宮之城支部（白川田廣八支部長）は19日、14年度第2回県下一斉安全パトロールを実施し、9年間続いている重大災害ゼロを更に伸ばすため、格差のない安全管理で各現場とも完成まで無事故無災害で、と呼び掛けた。

同日は、支部会員の代表者や現場代理人、県本部の今屋純一労務委員（川内支部）や日当瀬輝志川内労働基準監督署長、宮之城土木、川内耕地・農林各事務所など発注機関の担当者も参加して、1班－宮之城町、2班－薩摩・鶴田町、3班－入来・祁答院町の10現場を細かくチェックした。

このうち、2班は薩摩町発注の求名団地造成（1工区）（㈱薩摩工務店）、川内耕地事務所発注の広域営農団地農道整備事業川薩3期地区14の7（有）小路建設）、鶴田町発注の花立線道路改良の3現場をパトロール。重点事項の①墜落・転落防止、土砂崩壊防止用の措置がなされているか②重機運転者の有資格者を選任しているか③安全施工サイクル運動を実施しているか－など点検表に基づき入念にチェック、診断結果を各現場担当者に伝え指摘すると共に「年度末を無災害で工事を終えるよう、安全作業に十分留意して下さい」と声を掛けていた。

パト終了後、建設会館で開かれた反省会では、白川田支部長が「当支部は、間もなく重大災害ゼロが9年間目となる。毎月の自主パトで指摘された現場も、素晴らしく改善されていた事に驚いた。また一方では、受注金額に対して過重なほどの安全管理体制の現場には恐縮したが、本日学んだ優良現場の良い所は自社現場に取り入れ、労災撲滅に取り組んでほしい」と挨拶した。診断意見発表では、どの現場も整理整頓が行き届き良好と診断されたものの、第三者災害予防対策の強化、許可票などは外から見える場所に掲示－などの要望がなされ、講評では、工夫されたアイデアのイメージアップなど安全管理の行き届いた現場ばかりだが、格差のない安全管理で基本を守り、完成まで無事故無災害で、と呼び掛けた。



事務所などを診断するパト一行
＝薩摩町の現場で

県建設業協会加世田支部パト

基本重視で安全管理を

県建設業協会加世田支部（上東信義支部長）は19日、支部会員をはじめ、加世田労働基準監督署、加世田土木事務所など各発注官庁の担当者ら約70人が参加して安全管理・雇用改善の公開合同パトロールを実施、労働災害撲滅と雇用改善の周知徹底などを図り、診断をしていただきた

午前9時に、加世田市の南薩建設業会館に集まった参加者らを前に、上東支部長が「ゼロ災を達成するためには、目先の利益より基本を重視した安全管理の徹底が必要。基本動作を忠実に適正な作業を進めてもらうためにも、厳正な診断をしていただきたい」と呼び掛けた。

一郎労務委員長がパト実施の説明を行い、4班に分かれ現場診断に向かった。

このうち、前園富男副労務委員長を班長とする4班は、7人の診断員と共に資源循環林整備久木野工区（㈱前園建設）、集落水源山地整備（㈱外園組）、地方特定道路整備舞敷野工区（㈱日新道路）、加世田高校運動場整備（㈱上東建設）の4現場の事務所や重機、安全日誌などを入念に診断した。

会では、各新団員から診断結果が報告され、安全日誌の記載が簡素過ぎる、昇降設備の不備、通行車両への安全確保が不十分などの指摘があったものの、概ね良好との判断がなされた。

また、当日診断員として参加した指宿支部の姫野博文労務委員長からも「現場で資源ゴミの分別が徹底されているなど、管理が徹底されている。当支部も参考にしたい」

初の建築士事務所業務研修会

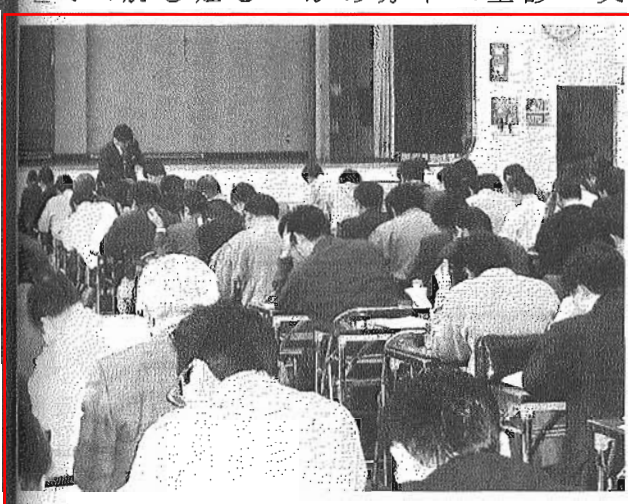
立派な成果品を発注者に

県と事務所協

県と県建築士事務所協会共催による初めての建築士事務所のための業務研修会は19日、鹿児島市の県青少年会館で開き、県土木部建築課の職員らが講師となり、業務委託内容や各種仕様書等を説明、事務所側への周知と理解を求めた。

研修会開講にあたり、大原達也県事務所協会長が「建築設計・工事監理に対する自己責任がますます要求されるようになり、成果品に対して的確に業務を遂行、適正な報告書等の作成、発注者に返していくことが強く求められている」と挨拶。また、平川純雄県建築課長は、建築基準法に基づく完了検査への協力を要請した。

続いて研修に移り、県事務所協の大迫正明理事が耐震改修工事に係る問題点と題して講義。県建築課、住宅課の職員らは特記仕様書や積算マニュアル等の改正事項、業務委託内容書、公営住宅の性能評価などについて詳しい解説を加えた。



入札参加資格業者ら180人が参加した研修会
＝鹿児島市の県青少年会館で

セラミクサー燻焼実験

きょうから、鹿児島市で

向栄企画設計

向栄企画設計㈱は20、21日の両日、鹿児島市の中央卸売市場で「セラミクサー燻焼実験」を実施する。セラミクサーは装置内をマイナスイオンを還元剤として作用させ、ピンポイントで確実に安全に有機物を無機化するもので、資源循環型セラミック生成器背らミクサーを使い、資源循環型・リサイクル・セラミック「リセラ」を作る装置。ビン類や金属等を除くもの全て（ペットボトル、ビニール、プラスチック、草木、繊維製品類、畜産糞尿類、古タイヤ等）を投入処理可能品としている。

見学、申し込み、問い合わせは、㈲政彦商店（☎・FAX099・265・3105）まで。

九州新幹線 新八代・西鹿児島間

来月2日にレール締結式

日本鉄道建設公団

日本鉄道建設公団は3月2日午前11時から、出水市の九州新幹線出水駅内で「九州新幹線（新八代・西鹿児島間）のレール締結式」を開く。

建設業許可申請
変更届・資格審査申請・官公庁許認可・登録申請手続き致します
許認可コンサルタント
安田行政法務事務所
鹿児島市中央町5－41 トーカンマンション白雲602号 TEL 252-8084 FAX 252-1144

24時間 迅速な作業と適正価格でまごころサービス
エレベータ・エスカレーター 立体駐車場全般 保守点検専門
㈱日本エレベータ
本社 鹿児島市下荒田1-20-6 TEL(099)257-9113 FAX(099)251-9418
営業所 鹿児島・熊本・大分・福岡・広島